



## 「健康と福祉の研究会」第15回大会に参加しました

標記研究会が、令和7年9月17日（日曜日）にハイフレックス形式（会場およびオンラインの併用）にて開催されました。

当日は、一般演題のほか、Three Minute Thesis（3MT）としてスチューデントセッションの企画もあり、本校の理学療法士科3年生は「卒業研究」中間発表会の位置づけでオンライン参加し、自身の卒業研究テーマをプレゼンテーションしました。

また、本大会には、東海大学、大阪体育大学、日本社会事業大学、群馬医療福祉大学など、様々な学校から多くの学生さんが参加しており、実際に卒業論文を執筆している同年代の発表を聴くことができたことは、本校学生にとって大変良い機会となったようです。

なお、本校からエントリーした演題が、優秀演題（敢闘賞と奨励賞）に選ばれました。以下に演題名と発表者名をご紹介します。

### <最優秀賞>

#### 「外国人介護人材の受け入れの現状とその課題、支援のあり方」

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 4年 張 瑠軒

### <敢闘賞>

#### 「ろうそくの吹き消し距離を用いた CPF の妥当性の検討 - 最長発声持続時間との比較を通して -」

大分リハビリテーション専門学校 理学療法士科 3年 土井 みづほ・柴尾 ひかる・江藤 陽大

### <奨励賞>

#### 「模擬的拘束性肺疾患患者における負担のない酸素ポンベの携行方法」

大分リハビリテーション専門学校 理学療法士科 3年 泉 美穂・近藤 渉・立川 愛恵

